

奈良の郷土芸術 [一刀彫]

[制作テーマ：2022年の干支]

「寅」を彫る。

- とき／令和3年11月28日(日)
- 講師／鐵山刀工：松本一平
- ところ／匠の聚(工房鐵山アトリエ)
- じかん／10:00～17:00(制作終了後解散)
- 受講料／3,500円(税・材料費込み)
- 定員／8名(先着)

受講生
募集



写真はイメージです。

奈良一刀彫工房

TETSUZAN

鐵山

11月25日(木)申込締切



一刀彫は伝統を誇る奈良の郷土芸術を代表するもので、その歴史は平安時代春日大社例祭のために作られた人形に始まり、江戸時代には愛玩用の奈良人形として知られ、幕末、森川杜園により玩具から一躍芸術品の域に高められました。

一刀彫工房「鐵山」(てつざん)は、(故)松本鐵太郎のもとに集まった刀工や絵師たちの作品で、1990年に秋篠宮様にお買い上げいただいたことも励みとなり、川上村匠の聚に工房を構え、日々創意工夫を凝らしながら創作展開しています。

■ お問い合わせ・ご予約／匠の聚(たくみのむら)

TEL 0746.53.2381

〒639-3541 奈良県吉野郡川上村東川135 URL:www.takuminomura.gr.jp E-mail:takumi@takuminomura.gr.jp

